

学びのススメ

効果的な勉強の方法, 仕方



前号で紹介した、家庭学習に関する悩み・困り事に対する返答を今後、何号かに渡って掲載していきます。

まず1回目は「効果的な勉強の方法・仕方」についてです。「テスト期間によく覚えられる自主勉の方法は？」という質問がありました。以下、昨年10月8日（火）発行の「学びのススメ」に掲載した内容を紹介します。テスト直前の今使える情報だと思いますので是非参考にしてください。

テストで成果を上げた人たちに聞いた、効果的だったと思われる勉強法やがんばったポイントなどについて掲載していきます。

家庭学習編

《ワークの解き方》

- ワークを1回やる→間違えたところに印をつける→そこだけ勉強する→全部できるようになったら、出来ていた問題も一通り解く
 - ※ ワークに直接書き込むのはテスト前日にする。（始めに書いてしまうと答えを見てしまうので効果なし。）
- ワークは早めに終わらせ、何度も繰り返し解く。（最低2回）
- テスト前日に一度解いてまちがった問題を書いて、もう一度覚える。（最低5回）
- 特に記述式のところを何度もやった。

《漢字練習》

- 陰山メソッドを使った。（時間の計測、同じ問題を何回も）

《その他》

- 授業でやった内容は、その日のうちにノートやプリントに目を通して復習する。
- ノートの復習をするときは、黒板に白以外で書かれたところを中心に勉強する。
- 教科書を音読する。（毎日）
- 工夫したノートづくり。（大事なところは強調し、蛍光ペンでチェック）
- うっかりノート、チャレンジノートをつくり、苦手なところをなくすよう工夫した。

家庭学習におけるポイントを具体的に書いてくれました。「陰山メソッドを使う」「うっかりノート、チャレンジノートをつくる」「音読をする」「手を使って書いて覚える」などなど、これまでこの『学びのススメ』で紹介したことを効果的に、そして自分なりのアレンジをして学習した人が、成果を上げているということはいかばかりです。

テスト範囲を網羅し、2回以上繰り返し学習する。このぐらいうやらないと学習内容は定着していかないということです。計画的に学習することが出来ず、テスト範囲を網羅できなかった人も多数います。（ワークのやり残しなどなど…）今回の反省を生かし、次の期末テストでは同じ失敗を繰り返さないように、そして成果を上げている人の実践を是非真似てみてほしいと思います。